

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公表番号】特表2011-511817(P2011-511817A)

【公表日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2010-546254(P2010-546254)

【国際特許分類】

C 0 7 D 221/22 (2006.01)

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

C 0 7 D 495/04 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 451/14 (2006.01)

C 0 7 D 471/10 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 D 413/06 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

C 0 7 D 471/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/4545 (2006.01)

A 6 1 K 31/439 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/4725 (2006.01)

C 0 7 D 451/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/46 (2006.01)

A 6 1 K 31/437 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 K 31/4985 (2006.01)

A 6 1 K 31/538 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/08 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D	221/22	C S P
C 0 7 D	401/06	
C 0 7 D	495/04	1 0 5 A
C 0 7 D	471/04	1 0 7 E
C 0 7 D	451/14	
C 0 7 D	471/10	1 0 1
C 0 7 D	487/04	1 4 5
C 0 7 D	413/06	
C 0 7 D	401/14	
C 0 7 D	471/18	
A 6 1 K	31/4545	
A 6 1 K	31/439	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/496	
A 6 1 K	31/4725	
C 0 7 D	451/04	
A 6 1 K	31/46	
A 6 1 K	31/437	
A 6 1 K	31/4709	
A 6 1 K	31/55	
A 6 1 K	31/438	
A 6 1 K	31/4985	
A 6 1 K	31/538	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	3/08	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	37/02	

【 手続補正書 】

【 提出日 】平成24年2月8日(2012.2.8)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】請求項 3

【 補正方法 】変更

【 補正の内容 】

【請求項 3】

窒素を含む環 B が、アゼチジン - 1 - イル、ピロリジン - 1 - イル、ピペリジン - 1 - イル、アゼパン - 1 - イル、アゾカン - 1 - イル、

アゼチジン - 1 - イル（ここで、1 個の - CH₂ - 基は、O、S、NR^N、カルボニル、又はスルホニルにより置き換えられている）、あるいは

ピロリジン - 1 - イル、ピペリジン - 1 - イル、アゼパン - 1 - イル、アゾカン - 1 - イル（ここで、これらは、部分又は完全不飽和であってもよく、1 又は 2 個の - CH₂ - 基は、互いに独立して、O、S、カルボニル、又はスルホニルにより置き換えられており、1 個の - CH₂ - 基は - NR^N - により置き換えられていてもよい）、

アザ - ビシクロヘプタ - N - イル、アザ - ビシクロオクタ - N - イル、アザ - ビシクロノナ - N - イル、アザ - ビシクロデカ - N - イル、ビシクロウンデカ - N - イル、ビシクロドデカ - N - イル（ここで、各々は部分不飽和であってもよく、各々において、1 又は 2 個の - CH₂ - 基は、O、S、- NR^N -、カルボニル、又はスルホニルにより互いに独立して置き換えられていてもよく、また、各々において、1 個の - CH = 基は、- N = により置き換えられていてもよい）、

アザ - トリシクロノナ - N - イル、アザ - トリシクロデカ - N - イル、アザ - トリシクロウンデカ - N - イル、アザ - トリシクロドデカ - N - イル、アザ - トリシクロトリデカ - N - イル、アザ - トリシクロテトラデカ - N - イル（ここで、各々において、1 又は 2 個の - CH₂ - 基は、O、S、NR^N、カルボニル、又はスルホニルにより互いに独立して置き換えられていてもよく、また、各々において、1 個の - CH = 基は、- N = により置き換えられていてもよい）

[ここで、各上記環 B は、L¹ より互いに独立して選択される 1 個以上の置換基で置換されていてもよく、

ここで、各上記環 B は、L² より互いに独立して選択される 1 又は 2 個の置換基で置換されていてもよく、

ここで、各上記環 B の 2 個の隣接する C 原子は、L³ 及び L⁴ で置換されていてもよく、また

ここで、各上記環 B の 2 個の隣接する C 原子は、L⁵ 及び L⁶ で置換されていてもよく、

ここで、R^N、L¹、L²、L³、L⁴、L⁵、L⁶ は、請求項 1 に定義のとおりである] を示す、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

窒素を含む環 B は、好ましくは、アゼチジン - 1 - イル、ピロリジン - 1 - イル、ピペリジン - 1 - イル、アゼパン - 1 - イル、アゾカン - 1 - イル、

アゼチジン - 1 - イル（ここで、1 個の - CH₂ - 基は、O、S、NR^N、カルボニル、又はスルホニルにより置き換えられている）、あるいは

ピロリジン - 1 - イル、ピペリジン - 1 - イル、アゼパン - 1 - イル、アゾカン - 1 - イル（ここで、これらは部分又は完全不飽和であってもよく、1 又は 2 個の - CH₂ - 基は、互いに独立して、O、S、カルボニル、又はスルホニルにより置き換えられており、1 個の - CH₂ - 基は - NR^N - により置き換えられていてもよい）、

アザ - ビシクロヘプタ - N - イル、アザ - ビシクロオクタ - N - イル、アザ - ビシクロノナ - N - イル、アザ - ビシクロデカ - N - イル、ビシクロウンデカ - N - イル、ビシクロドデカ - N - イル（ここで、各々は部分不飽和であってもよく、各々において、1 又は 2 個の - CH₂ - 基は、O、S、- NR^N -、カルボニル、又はスルホニルにより互いに独立して置き換えられていてもよく、また、各々において、1 個の - CH = 基は、- N = により置き換えられていてもよい）、

アザ - トリシクロノナ - N - イル、アザ - トリシクロデカ - N - イル、アザ - トリシクロウンデカ - N - イル、アザ - トリシクロドデカ - N - イル、アザ - トリシクロトリデカ - N - イル、アザ - トリシクロテトラデカ - N - イル (ここで、各々において、1又は2個の - CH₂ - 基は、O、S、NR^N、カルボニル、又はスルホニルにより互いに独立して置き換えられていてもよく、また、各々において、1個の - CH = 基は、- N = により置き換えられていてもよい)

[ここで、各上記環 B は、L¹ より互いに独立して選択される1個以上の置換基で置換されていてもよく、

ここで、各上記環 B は、L² より互いに独立して選択される1又は2個の置換基で置換されていてもよく、

ここで、各上記環 B の2個の隣接するC原子は、L³ 及びL⁴ で置換されていてもよく、
また

ここで、各上記環 B の2個の隣接するC原子は、L⁵ 及びL⁶ で置換されていてもよい] を示す。